

日持ちして甘いカボチャづくり

栽培のポイント

●カボチャは吸肥力が強い！

カボチャは根張りが良く、吸肥力が非常に強い。元肥に多量の施肥をするとツルボケして落花・落果してしまいます。元肥は控えめにして追肥重視の施肥管理をしましょう。

●肥大期の追肥遅れに注意！

元肥を控えめにすると追肥のタイミングを逃しやすいです。一番果がピンポン玉くらいになったら追肥をしましょう。この時期に葉色が薄いようでは、落果が発生しやすくなります。また、ウドンコ病にもかかりやすくなるので注意しましょう。なお、一番果を収穫したら追肥をして、二番果に備えましょう。

●追肥はツル先！

カボチャの根は長く伸びています。苦土入りMリンPKなどの追肥は株元ではなく、ツル先に行うのがポイントです。



春夏作の施肥提案（1a＝30坪）

資材名	元肥	追肥① 開花 10 日前	追肥② 肥大期ピンポン玉大	追肥③ 二番果以降を穫る 場合、収穫後に
苦土入りMリンPK	4 kg	3～4 kg	2～3 kg	3～4 kg
バクヤーゼK	60 kg	—	15 kg	—
NK化成	2 kg	—	(1～2 kg)	1～2 kg

葉色が濃いようなら
P フォスタ 500 倍液
葉面散布

ウドンコ病対策に
リーフアップバリア 500 倍液
リーフA液材 500 倍液の葉面散布

多肥や肥切れで病気に

カボチャは吸肥力が強いいため、多肥すると害虫を引き寄せる。アブラムシはモザイク病を媒介するので注意。また、肥料切れとなるとウドンコ病やベト病が発生しやすくなる。着果後は葉色が黄化しないように、随時追肥する。

